

## 1-4 貞松 千佳子

### 「インドネシアも身近に感じよう！」

学校名・名前：兵庫県立芦屋国際中等教育学校・貞松 千佳子  
実践教科：総合的な学習の時間、道徳  
指導時数：7時間  
対象学年：中学2年生 対象人数：79人(A組39名、B組40名)

## 1.カリキュラム

### (1)実践の目的

本校は、様々な文化的背景をもった生徒達が日々かわり合い、共に学び合いながら学校生活を送っている。日々の学校生活の中で、異文化を受け入れ互いに認め合おうとする態度が自然に育成されるよう教育活動が行われている。今回の教師海外研修(インドネシア)で自分自身が見てきたこと・体験したこと・感じたことを生徒達に伝えることを通して、生徒達が更に世界へ目を向け、世界の一国であるインドネシアの人々・同年代の子供達に対して興味を持つきっかけにしたい。

また、開発途上国の中でも着実に発展を遂げてきているインドネシアではあるが、経済格差が非常に大きいという現状を伝えたい。そして、今後どのようにインドネシアが発展してほしいか、自分なりに考えてみる機会を持たせると共に、仲間の意見を知り、将来国際社会に貢献できる人づくりの一步になればと考える。

更に、貧しい地域で生活している人々・子供達であっても、他国から来た私達を笑顔で受け入れてくれ、明るく元気に歌を歌って迎えてくれ、自分の宝物は家族であり、知識であると自信を持って述べ、仲良く力を合わせて一生懸命生きていることを伝えたい。そこから「貧しい=不幸せ」では決してない、本当の幸せとは何か、本当の不幸せとは何かを考え直す機会を持たせたい。自分の生活を振り返り、今自分が感じる幸せに感謝する心を持たせたい。

最後に、ほんの一地域の願いではあるが“絵本がほしい”という要望に、生徒自身が自作の絵本を作成し贈ることを通して、なにか世界とのつながりを感じさせる活動にしたい。

### (2)授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1時限目 【インドネシアのちょっとした一面報告会】 インドネシアの人々・同年代の子供達・文化に関心を持つ。	・今回訪問したインドネシアの都市を確認する。 ・インドネシアのある中学校の様子を知る。 ・インドネシアのある町の様子を知る。 ・イスラム教に関するいくつかの習慣・文化を知る。 ・インドネシアの食べ物を知る。 ・インドネシアのいくつかの伝統文化について知る。 ・本時の感想を書く。	・世界地図 ・写真 (パワーポイント) ・実物 (中学生が使用しているノート・鉛筆・教科書、中学生が食べているお菓子、ジルバブ、ハラルマークのついた食べ物等)

<p><b>2時限目</b> 【インドネシアの経済格差】</p> <p>インドネシアの経済格差の大きさを知り、今後どのように発展してほしいか自分なりに考えてみる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班ごとに一枚の写真を見て、何の写真か、どこで撮られた写真か、その写真の撮られた場所はどこか想像し、イメージすること・思ったことを模造紙に書き出す。</li> <li>・班に配った4種類の写真を全員で見ながら、班ごとに書き出したことを発表する。</li> <li>・4種類(首都・都会、都会の裕福な家庭、村の家庭、貧しい地域)のそれぞれの写真に関連した他の写真を見て、それぞれの場所のイメージを確立させる。</li> <li>・4種類の写真が撮られた場所がすべてインドネシアであり、経済格差が非常に大きいことを認識する。</li> <li>・インドネシアの今後の発展の為に、自分ならどのように取り組みたいか自分なりに考え、班で話し合い模造紙に書き出す。</li> <li>・班で話し合ったことを発表する。</li> <li>・本時の感想を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォトランゲージに使用する4種類の写真(首都・都会、都会の裕福な家庭、村の家庭、貧しい地域)</li> <li>・その他の写真(パワーポイント)</li> </ul>
<p><b>3時限目</b> 【“幸せ”とは...】</p> <p>貧しい地域で生活している人々も明るく元気に一生懸命生きていることを知り、本当の幸せとは何か考え直すと共に、今の自分の幸せに感謝する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何人かの前回の授業の感想を聞く。</li> <li>・貧しい地域の子供達が私達を迎えてくれた時に歌ってくれた歌を聞き、感じたことをワークシートに記入する。</li> <li>・曲を聴いて感じたことを発表する。</li> <li>・その歌がどんな状況で歌ってくれたものなのかを知る。</li> <li>・“幸せ”とはどんなことなのか考え、ワークシートの記入する。</li> <li>・自分の今の生活を振り返り、自分の今の幸せは何か考え、ワークシートに記入する。</li> <li>・考えたことを発表し、又発表者の考えを聞く。</li> <li>・本時の感想を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貧しい地域の子供達が歌ってくれた歌の動画</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
<p><b>4～7時限目</b> 【自分と絵本とつながり】</p> <p>既製のものではなく、自分で作った絵本を送ることによって、自分と世界とのつながりを実感する。</p>	<p>&lt; 4時限目 &gt; 絵本のアイデアを考え、下書きをする。</p> <p>&lt; 5時限目 &gt; 画用紙で絵本の本体を作り、下書きしたものを画用紙に描いていく。</p> <p>&lt; 6～7時限目 &gt; 色をつけたり、折り紙等を使用し完成させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイデアの参考にする為の何冊かの絵本</li> </ul>

## 2. 授業の詳細

### 1時限目 「インドネシアのちょっとした一面報告会」

#### 目標

インドネシアのある中学校の様子を知り、同年代の中学生の学校生活に関心を持つことができる。  
インドネシアの一面にはすぎないが、町の様子やイスラム教、食べ物、伝統文化について関心を持ち理解することができる。

#### 内容

世界地図を使って今回教師が訪問したインドネシアの都市を確認する。

(ジャカルタ、ジョグジャカルタ)

インドネシアのある中学校の様子を知る。

以下はプラズマテレビにパワーポイントを映して授業

(制服、授業の様子、休み時間、校内のモスク、トイレ等)

写真やビデオ、実物を見せながら、自分達の学校との違いにも触れながら、同年代の中学生の学校生活に興味関心を持てるように説明する。

インドネシアのある町の様子を知る。

(道路、バス、タクシー、ベチャ(人力車)、デルマン(馬車)、マクドナルド、信号、ポスト、ごみ箱等)

バスやタクシー、その他の乗り物の特徴を押えらるとにも、混雑した道路状況(ここでは動画を使用)をしっかりと伝える。

イスラム教に関するいくつかの習慣・文化を知る。

(ジルバブ、モスク、お祈り、コーラン(イスラム教の聖典)、ハラルマーク等)

どんな宗教であっても信仰心には個人差があるので、あまり深い説明に陥り過ぎないように注意する。お祈りは動画を使用。

インドネシアでよく知られているいくつかの食べ物を知る。

(ナシゴレン(焼き飯)、ミーゴレン(焼きそば)、サテアヤム(焼き鳥)、ピサンゴーレン(揚げバナナ)、フレッシュジュース(スイカ・アボガド)、サラック(果物)等)

インドネシアのいくつかの伝統文化について知る。

(ガムラン音楽、バティック(ろうけつ染め))

伝統文化は他にもたくさんあり、又地域によって違う文化もあるので、その一部を紹介していることを押える。ガムラン音楽は動画を使用。

本時の感想を書く。

生徒の感想

- ・音楽の授業でギターやドラムをやるのがおもしろそうでした。教室に大統領の写真がはってあるのはびっくりしました。トイレは手で水を流すのが驚きました。1日に5回もお祈りをするなんて大変だなと思いました。
- ・すごいインドネシアに行ってみたいと思いました。この学校で、インドネシアの学校とも交流があったらいいのになとも思いました。
- ・私は小さい頃に、インドネシアのジャカルタの隣のバンドンに住んでいた。同じところもあったけど、違うところもあった。やっぱりその町によって違うんだなあと思った。いろいろなことを思い出せて良かった。
- ・インドネシアの色々な一面を見ることができました。先生の解説や周りの話も面白かったです。伝統の楽器がとてもいい音でした。一度やってみたいです。



<授業風景>

## 所感

- ・動画をうまく使えたことは生徒に伝えたいもののイメージが鮮明に伝わり、生徒達も楽しんで良かったと思う。
- ・実物の提示も予想通り、生徒達は喜んで見ていた。
- ・生徒達の知っている教師の実際の体験談はやはり楽しかったようで喜んで聞いていた。
- ・分野別にまとめて説明できたのは、生徒達にも分かりやすかったようで良かったと思う。
- ・生徒の活動としては、見たり・聞いたり・触ったりする活動のみであったが、生徒達は異文化を十分に楽しんだようで、次回の授業も楽しみにしてくれた。

## 2時限目 「インドネシアの経済格差」

### 目標

開発途上国の中でも着実に発展を遂げてきているインドネシアではあるが、経済格差が非常に大きいという現状を理解することができる。  
インドネシアの今後のより良い発展の為に、自分なら何をどのように取り組みたいか、自分なりに考え自分の意見を述べることができる。

### 内容

班ごとに配布された1枚の写真を見て、何に写真か、どこで撮られた写真か、その写真の撮られた場所はどこか想像し、イメージすること・思ったことを話し合い、模造紙に書き出す。

4種類の写真を2枚ずつ用意し、班に1枚ずつ8班に配布する。写真について感じたこと・思ったことは何でも書きださせる。

4種類の写真を全員で見ながら、班ごとに書き出したことを発表する。

4種類(首都・都会、都会の裕福な家庭、村の家庭、貧しい地域)のそれぞれの写真に関連した他の写真を見て、それぞれの場所のイメージを確立させる。

4種類の場所のイメージがしっかり確立できるよう、補足説明を加えながら写真を見せていく。

4種類の写真が撮られた場所がすべてインドネシアであり、経済格差が非常に大きいことを認識する。インドネシアの今後のより良い発展の為に、自分なら何をどのように取り組みたいか自分なりに考え、班で話し合い、模造紙に書き出す。

もし自分が、今後のインドネシアの発展の為に何か取り組むとしたら、何を、どんな風に、どんなところから取り組んでいきたいか考えさせる。

班で話し合ったことを発表する。

### 生徒達の意見

- ・ゴミを拾う、減らす。ゴミ捨て場に捨てる習慣をつける。ゴミを捨てて町をきれいにする。
- ・政府がゴミを収集し処理すべき。ゴミをなくしてリサイクルを多くする。
- ・給料と経済能力によって、税金を別々に集める。
- ・ボランティア活動を増やして貢献していく。いらなくても使えるものを寄付する。募金活動。
- ・貧しい地域を少しでも豊かにする(貧富の差をなくす)。
- ・下水システムを発展させる。水洗トイレにする。
- ・裕福な人に協力してもらって募金とか寄付をしてもらう。
- ・インドネシアはインドネシア。そっとしておくのが一番。差別をしない。日本と比べない。
- ・日本の発展した部分をインドネシアに伝えたい。
- ・貧しい学生達に、ちゃんとした教育が受けられるような学校を多く作る。

本時の感想を書く。



<授業風景：班での話し合い>

#### 生徒の感想

- ・写真を見て何なのかをあてるのは難しかったけど楽しかったです。この前の授業では、学校とかも見て面白く見れたけれど、今日の後半は色々写真を見ながら聞いて、すごく貧富の差が激しくて、こんなにも違うんだとショックを受けました。班のみんなとも考えたけど、インドネシアの貧しい生活などをみて、私一人ではできないのではないけれど、今日は本気でこうしたいな、こうしたらもっと良い環境で暮らせるのになとか、色々考えることができました。みんなの意見もたくさん聞けて、すごく良い意見もたくさんあって、今日だけではなく、時々じっくり考えていこうと思いました。
- ・貧富の差があんなに大きく、周りにあるものが“普通”だと思ったり、ムダ使いをしている自分がとても恥ずかしくなりました。
- ・日本にも格差がある。でもその差は小さい。だからと言って、インドネシアを日本のように格差の小さい国にする為に協力してあげようというのは、なんだかうぬぼれているような気もする。でも、困っている国や人を助けてあげるのは大切なので、自分達から手を差し伸べるよりも、相手が協力をほしい時にすぐに対応してあげるべきかなと思う。
- ・この写真を見て、私もインドネシアの人達に何かできたらいいなと思いました。その為にも自分の一番身近なところからはじめてみようと思います。例えば、食べ物を粗末にしない、資源を大切に使うとかです。これだけでもインドネシアの人達の何かにつながったらいいなと思いました。

#### 所感・反省点

の活動ではフォトランゲージの手法を取り入れたが、正直なところ、今回の授業の目的を果たすために、この手法を取り入れて効果があったのか、分かりかねている。

の班活動では、どんな意見がでるか予測が立たなかったが、又、でてきた意見がよい意見かどうかは別にして、生徒達はそれぞれ思う意見を言い合っていたように思う。いろいろな授業を通して、もっと生徒達が自分の意見を言う場を作っていけると、自分達の意見を出し合うことにもどんどん慣れていき、もっと深まった意見がでてくるのではないかなと思った。

の活動が時間が足りなく、班ごとに発表することができなかった。教師が各班からでた意見を紹介する形になってしまった。

#### 3時限目 「“幸せ”とは…」

##### 目標

インドネシアの貧しい地域に住んでいる人々も、毎日を楽しみみんなで協力し、一人ひとり一生懸命頑張って生活していることを理解することができる。

“幸せ”とは何かを改めて考えるとともに、自分の生活を振り返り、今自分が感じる幸せに感謝することができる。

##### 内容

何人かの前回の授業の感想を聞く。

貧しい地域の子供達が私達(教師)を迎えてくれた時に歌ってくれた歌を聴き、感じたことをワークシートに記入する。

ここでは、映像を見せず、状況説明もせず、音だけを聞いて感じたことを書かせる。何人ぐらいの人が、どんな雰囲気、どんな気持ちで歌っているか感じとれることを書き出させる。

生徒のワークシートから

- ・5～8人ぐらいの人が明るい雰囲気で、楽しい気持ちで歌っていると思う。
- ・大人から子供、男の人・女の人がたくさんで歌っている感じがする。
- ・手拍子も入ってるから明るいとも言えるし、音が低めでさみしい感じもあった。
- ・4人ぐらいの人が盛り上がる雰囲気で楽しい気持ちで歌ってる。一生懸命歌ってる。情熱的

曲を聴いて感じたことを発表する。

その歌がどんな状況で歌ってくれたものなのかを知る。又、貧しい地域の人達が協力をして、学校や憩いの場を作り、子供達は自分の夢をしっかりと持って頑張っている生活していることを知る。

“幸せ”とはどんなことなのか考え、ワークシートに自分の考えを書く。

貧しいことが不幸せなんだろうか。幸せとは何かを考えてみると同時に、どんなことが本当は”不幸せ“なのか考えさせる。

生徒のワークシートから

- ・私は、大切なものがあるのが幸せだと思います。その大切なものもたくさんあるけれど、何より、自分の存在があり、それを認めてくれる人達がいる事が幸せだと思います。周りから認められなくても存在はあるけれど、人は一人ではとても生きていけません。逆に、誰からも自分や自分の存在を認めてもらえないのが不幸せだと思います。どんなに嫌なことがあっても、それだけではなくてはいけないと思う。
- ・本当の幸せとは、その人が元気に暮らしていることだと思う。その人が生きていることが楽しいと思っているなら、その人は幸せだろうし、生きていくことが楽しくないと思っている人は、きっと不幸せなんだと思う。幸せというのは、その人が幸せだなあと感じているかどうかによると思う。
- ・本当に幸せは、お金がどれだけあるとか、どれほど裕福な暮らしを送っているとか、そういうことではないと思う。「自分の能力を見つけ、それをどれだけ使いきれるか」が幸せだと思う。
- ・本当の幸せは、今自分が生きていて、家族や友達と楽しく過ごしている事だと思う。不幸せっていうのは、誰もいなくて一人ぼっちの時だと思う。なぜなら、人間は誰でもそうだけど、一人では生きていけないから。
- ・本当の幸せは、人によって感じ方が違うと思うけど、私は「どんな時、幸せだと思いますか？」と聞かれたら「笑顔でいるとき」と答えています。

自分の今の生活を振り返り、自分の今の幸せは何か考え、ワークシートに記入する。

考えたことを発表する。又、発表者考えを聞く。

生徒のワークシートから

- ・一緒にいてくれる人がいることが幸せだと思う。家族や友達と、馬鹿なこととか言って、笑い合ってる時とか、なにげない幸せを感じる。楽しい時だけじゃなくて、悲しい時に、友達が何も言わずにそばにいてくれることが幸せだと思う。
- ・毎日学校に来て、勉強ができて、私は勉強は嫌だと思っているけれど、自分のやりたいこと、習い事などもできていて、勉強するのが嫌だと思っはぜいたくな悩みだと思いました。私は、友達と家族と楽しく過ごせて本当に幸せだなと、それはいつも思っています。
- ・毎日家族と一緒にいられること。食べ物をたくさん食べれること。みんなと一緒に勉強できること。部活でテニスができること。健康なこと。これが私の幸せじゃないかな。
- ・僕は今、長くお父さんとお姉さんと離れて生活していますが、今感じる幸せとは、今この日本に来て、勉強できることです。韓国で勉強できない子もいるし、外国に行って勉強できる人も少ないから、このことについて幸せです。もちろん、父母に感謝しています。

本時の感想を書く。

#### 生徒の感想

- ・今日は「幸せ」について考えた。結局、裕福な日本にいても貧富の差が激しいインドネシアにいても、「幸せ」を手に入れる努力、自分の能力を使い切り充実した毎日を手に入れる力をしなければ不幸せなんだと思った。
- ・幸せ、不幸せについて考えるのが難しかった。不幸せって何なのかよく分からない。ただ思ったのは、幸せか不幸せかって人が見て決められることじゃないなってこと。人はそれぞれいろんな感じ方があるから難しかった。
- ・こっちは勝手にかわいそうだなと思ったけど、本当は幸せだったのかもしれない。良い環境じゃなくても、幸せになるかどうかは自分の心で決めなければならないと思います。
- ・今まで考えていた「幸せ」は表だけの幸せだったってことに気づいた。豪華な家に住んで、服着て・・・とか。心が幸せじゃなかったら、幸せじゃないんだと思った。
- ・今日のこの授業で、幸せとは何だろうと深く考えることができました。このような時は、私は本当に幸せと感ずることができて感謝もするのですが、普段は忘れてしまいがちです。インドネシアの人達は、暮らしは大変そうですが、人を思いやる気持ちがあって、幸せだなと思います。私もこの毎日にもっと感謝して、世界の人達にできることはないかと少しずつ考えていきたいです。

#### 所感

この授業は、いろいろな意味で実践して良かったと私自身が思える授業であった。もちろん生徒達自身が“幸せ”とは何か改めて考えてみる事ができたことは、上に載せた感想文からもみても良かったと思う。“幸せ”について考えることで、今現在困難にぶつかっている生徒が今後頑張っていこうと思うことができた。又、ある生徒は自分が持っていたステレオタイプの考えを見直してみることもできた。そしてこの活動は、生徒自身だけでなく私にとってもよい活動となった。生徒達の考えや思いを読んで改めて“幸せ”について様々な角度から考えることができた。又、今感じる幸せを書くことができない生徒を見つけたり、今感じる幸せの内容を読んで更に教育的配慮を要する生徒に気づくこともできた。今後の生徒指導に役立つ資料にもなったことは非常に良かったと思う。

#### 4～7時限目 「自分と絵本とつながり」

##### 目標

絵本の読み手となる人(インドネシアの子供達)のことを考え、読み手が楽しむことのできる内容・デザインを考えることができる。

既製のものではなく、自分で工夫をして絵本を完成させることができる。

##### 内容

< 4時限目 >

絵本のアイデアを考え下書きをする。アイデアが浮かびやすいように、様々な工夫がされた既製の絵本を何冊か見せる。ページ数は表紙と裏表紙以外に6ページ。横開き・立て開きは自由。2ページ分を1ページとして作成するのも自由。絵本に使う文字・表現・文章は、調べられる範囲でインドネシア語を使うようにしている。

< 5時限目 >

画用紙で絵本の本体を作り、下書きしたものを画用紙に描いていく。

< 6～7時限目 >

マジックや色鉛筆で色をつけたり、折り紙等を使用し完成させる。



< 授業風景と絵本 >

## 所感

想像以上に生徒達は絵本作りを楽しんでいる。どこに住んでいる子供達に、また絵本を置いてもらう場所等をビデオで見せたことも効果的だったように思う。どんな絵本が読み手が喜ぶかいろいろ考えながら楽しく取り組んでいる。全員が完成するのは、2月末の予定である。完成したら、40冊ずつ2か所(今回訪問した地域で絵本がほしいと言ってくれた場所)に送る予定である。

## 3. 成果と課題

---

まず、今回の教師海外研修に参加させていただき、自分なりに授業を組立て実践にまでこぎ着けたことは、様々な悩みや困難にもぶつかったが、何か達成感をも感じることができ、自分自身にとって価値あるものとなった。

1時限目(インドネシアのちょっとした一面報告会)の授業では、生徒達は本当にいろいろな国に興味・関心を持っているんだと改めて感じた。どれだけ様々な機会を利用してこちらが他国を知る機会(授業)を与えてやれるかだなと感じた。又、今回の授業の組み立てで一番苦労したのが、2限目の授業(インドネシアの経済格差)と2限目から3限目(幸せとは)の授業へのつなぎ方であった。私自身が開発教育に関連した授業を行った経験がほとんどなかったこともあり、班活動にしても、教師の発問内容にしても、生徒達がどのような反応を見せるかほとんど予測が立たなかったので、授業の組み立てにかなり苦しんだ。貧しい地域に対して、まずは生徒から自由な意見を引き出そうと試みたが、実際インドネシアではないが、同じような貧しい地域に住んでいる人を知っている生徒が、他の生徒の意見を聞き心痛める場面もあり、様々な文化的背景を持った生徒達に行う授業の難しさを感じた。しかしながら、自分なりの意見を持ち、将来世界に貢献したいという気持ちを十分に持っている生徒達がたくさんいることも知れ、彼らの柔軟な発想を今後も伸ばしていく為にも、継続した開発教育の必要性も感じることができた。

教科指導、生徒指導等本当に毎日が多忙ではあるが、今後も自分自身が様々な国に目を向けていくことが大切であると痛感する。自分自身が体験し何かを感じるからこそ、こんな授業をしたい・してみたいと悩みながらも組み立てていけるのではないかと思う。実践にまで行き着く過程は決して簡単ではなかったが、生徒達の意見・感想から思えることは、授業実践を行って良かったということである。今後も自分自身がチャレンジ精神を忘れることなく、より良い授業実践ができるよう努力していきたい。



**資料1** (使用した授業: 1時限目【インドネシアのちょっとした一面報告会】)

< 使用したパワーポイントの一例 >



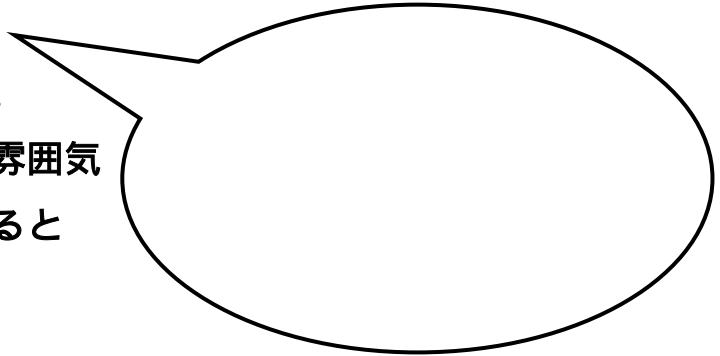
**資料2** (使用した授業: 2時限目【インドネシアの経済格差】)

4種類の写真	それぞれの写真に関連した他の写真の一例			
<p>【首都・都会】</p> 				
<p>【都会の裕福な家庭】</p> 				
<p>【村の家庭】</p> 				
<p>【貧しい地域】</p> 				

## インドネシア ワークシート

組 番 名前 \_\_\_\_\_

1. 音楽を聴いて、  
感じたことを書いてみよう。  
何人ぐらいの人が、どんな雰囲気  
で、どんな気持ちで歌っていると  
思いますか？



2. 本当の とは？ とは？ 自分の考えを書いてみよう。

---

---

---

3. 自分の生活を振り返ってみよう。自分が今感じる とは？

---

---

---

4. 今日の授業の感想を書いてみよう。

---

---

---

---